



日本のあたりには、どんなプレートがあるの

4つのプレートが、ぶつかりあっている

地球の表面は、厚さが70～100キロメートルの、十数枚の岩石の板で、おおわれています。この岩石の板をプレートといいます。プレートには、大陸プレートと海洋プレートがあり、大陸や海をのせて、ゆっくり動いています。

日本付近では、4つのプレートが、ぶつかりあっています。太平洋プレート、フィリピン海プレート、北アメリカプレート、ユーラシアプレートの4つです。

新潟県沖から、北海道にかけての日本海は、北アメリカプレートと、ユーラシアプレートの、境目になっています。

伊豆半島は、フィリピン海プレートにのっていて、相模湾から千葉県沖の海底で、北アメリカプレートと接しています。また、フィリピン海プレートは、駿河湾から紀伊半島沖・四国沖の海底で、ユーラシアプレートと接しています。

プレートとプレートの境目で、地震がよく起こる

プレートとプレートの境目では、地震がよく起こります。日本付近で地震が多いのは、4つのプレートが、ぶつかりあっているからです。（監修・国司 真）

